

東北大学・秋田大学・山形大学連携

東北大学大学院医学系研究科

研究医養成プログラム

医療の次世代リーダー育成教育

早期の大学院教育を実現します。
医学研究のエリートを育成します。

東北大学大学院医学系研究科は、秋田大学、山形大学と連携し、「研究医養成プログラム」を設置しました。本プログラムでは、学部4年生と5年生の間に大学院課程を導入し、早期からの高度専門教育を実践します。「研究医養成プログラム」は、以下の3つのサブプログラムにより構成します。

1 研究医動機付けサブプログラム

連携3大学において、それぞれ医学科1～3年次の基礎医学・社会医学系の教育カリキュラムの中で演習・実習を行い、リサーチマインドの萌芽を促す。

2 研究医コースサブプログラム

コース設定を4名とし、対象は原則として東北大学の研究医コース（MD-PhDコース）を希望する連携3大学の医学科4年次以降の学生から選抜する。また、研究医コースに新たな授業科目を設定し、社会的ニーズへの意識を高めながら研究医専門教育の充実を図る。

3 キャリアパス支援サブプログラム

連携3大学で「研究医キャリア調整小委員会」を組織し、研究医コースの学生に対し、進路相談、就職支援等を行う。
※研究医コースサブプログラムにおける標準教育期間は、大学院4年間、学部2年の6年間となっています。
大学院在学中、優れた研究業績を上げた場合は、大学院を3年で短縮修了することが可能です。

研究医養成プログラム

連携大学

秋田大学、東北大学（拠点）、山形大学
コース定員4名（連携大学全体）

研究医コース（MD-PhDコース）

研究医コース科目の設置

「研究医養成特論Ⅰ（感染症概論）」、
「研究医養成特論Ⅱ（Autopsy Imagingセミナー）」、
「研究医養成セミナー」を大学院科目として開講する。

研究医動機付け
サブプログラム
（1～3年生）

東北大学
秋田大学
山形大学
医学部医学科
4年生

東北大学
大学院
医学系研究科
（4年間）

東北大学
秋田大学
山形大学
医学部医学科
5～6年生

キャリアパス支援
研究医キャリア調整
小委員会で就職、留学、
フェローシップ制度の
利用をサポートをする。

奨学金制度
（4年間）

東北大学大学院の
MD-PhDコースに受け入れる。

奨学金制度
（2年間〈予定〉）

大学院修了後は
元の大学に復帰する。

研究医コース 〈MD-PhDコース〉

概要

医学研究を志向する医学部学生に対し早期に研究の機会を与えることによって、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者を養成することを目的として、博士課程（医学履修課程）医科学専攻に研究医コース（MD-PhDコース）を設置しております。本コースは、医学部教育4年次又は5年次終了後、大学院博士課程（医学履修課程）医科学専攻の教育・研究を経て博士の学位を取得し、その後に学部に戻り医学部教育を受けるものです。希望によって医学部に復学をしないうで、そのまま医学研究を続ける道も開かれています。

M.D. 英語 Doctor of Medicine
Ph.D. 英語 Doctor of Philosophy 日本における「学術博士の学位」

経済支援

●大学院入学後

選考によりAとBを給付します。任意でCの給付も受けられます。

A
研究医コース奨学金
月額5万円

B
年間授業料相当の現金給付
月額7万円

C (任意)
日本学生支援機構奨学金
月額12.2万円
無利息

成績優秀者は返還免除も可能

●医学部に復学後2年間（東北大学生のみ）

研究医コース奨学金、年間授業料相当額の現金給付

MD-PhDコース学生からのメッセージ



現医学科6年在学
平成22年3月医科学博士課程修了
(微生物学分野)

古瀬 祐気さん

私はMD-PhDコースの学生として、海外に何度も足を運びながらの充実した研究生を送りました。研究によって、論理的思考を十分に身につけることができ、さらには主体性やプレゼンテーションの技術を向上させることもできます。たとえ将来は臨床の道に戻るとしても、この期間で得たものは視野を大きく広げてくれるでしょう。



医学研究者のキャリアパス



連絡先

東北大学大学院医学系研究科

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号
Tel.022-717-8010 [教務室大学院教務係] Fax.022-717-8021
http://www.med.tohoku.ac.jp/
E-mail: m-daigakuin@bureau.tohoku.ac.jp